

2025年8月4日（月）に京都市地域企業未来力会議をKYOCA京果会館（下京区朱雀正会町1－1）で開催した。今回は令和7年度の地域企業応援プロジェクトの概要説明に加え京都市地域企業の持続的発展・成長に関するアンケートの調査結果を踏まえた議論を行ない参加者による意見交換が繰り広げられた。また、事業者連携による新たな可能性を模索する公益的な社会実験「京都・地域企業 未来の祭典2025 ～KYOTO ECONOMIC CULTURE FESTIVAL～」の開催告知が行われた。



第一部:

(1) 開会

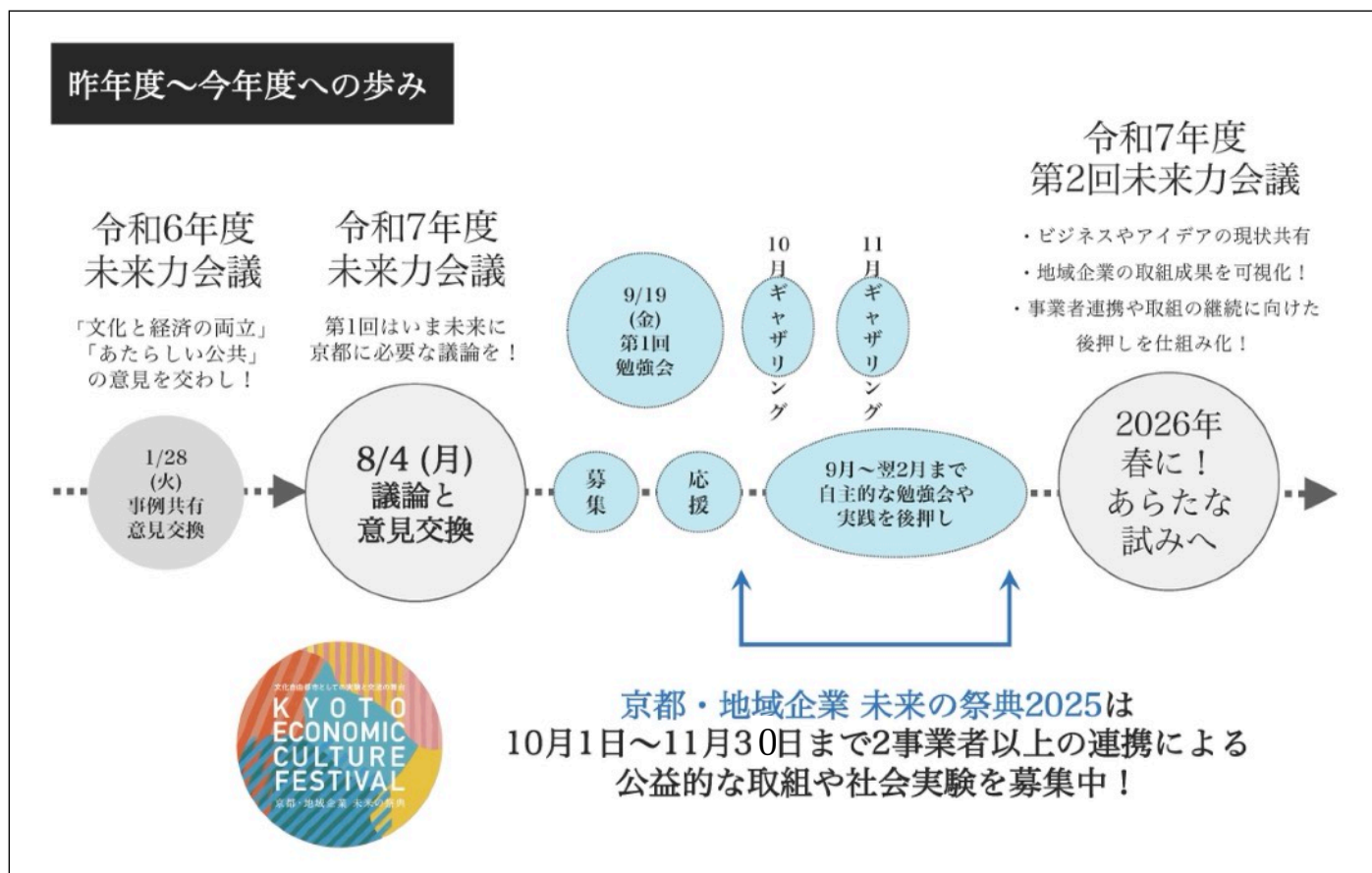
開会にあたり京都市からご挨拶をした。

「地域企業という名のもと、地域に根差し活動をされている多くの地域企業にお集まりいただいた。地域企業という呼称は、京都の地域企業が思いを込めてつけた名称であり、京都市内でも浸透してきた。京都から新しい取り組みを発信していきたい」との呼びかけがあった。



(2) R7年度の地域企業応援プロジェクトの概要説明

本事業を運営を行う、一般社団法人リリースより、地域企業応援プロジェクトのこれまでの変遷とともに、本年度の事業の説明があった。



「京都・地域企業応援プロジェクト」の5つの取組

①京都市地域企業未来力会議

多様な業種の経営者等が集まり、領域を横断した議論を展開しながら「社会課題」や「地域課題」、「経営課題」の解決につながる新たなビジネスアイデアの創出を図ります。特に今年度は、地域企業や行政等が社会の課題解決に繋がるビジネスアイデアや議論テーマについて共有・検討します。

③地域企業勉強会

地域企業宣言に沿って、事業継承や担い手不足など企業の共通課題を話し合ったり、低炭素社会の実現やSDGsに関する先進的な取り組みなどを学び合ったりする、テーマ持ち寄り型の合同勉強会を実施します。

⑤地域企業未来の祭典

地域企業未来力会議から生まれた、事業者連携による新たな可能性を模索する公益的な社会実験の祭典。京都市が地域企業と連携して開催しています。

②京都・地域企業応援会

地域企業として事業を展開する企業が持つアイデアの具体化・実現に向けて、幅広い知見を持ったビジネス・コーディネーターから助言やヒントを得られる機会です。計画へのアドバイスだけでなく、地域企業間の連携支援等も年間を通じて実施することで、地域とともに歩む地域企業を応援します。

④「京都市 輝く地域企業表彰」制度

地域企業宣言を踏まえ京都市では条例を制定し、地域と共に継承・発展する「地域企業」の理念の浸透及び、実践の促進のために創設された表彰制度を策定しました。地域に長年親しまれている事業者や地域企業の解決策を目的に地域企業等が連携して実施する公益的な取組を表彰しています。

(2) R7年度の地域企業応援プロジェクトの概要説明

京都・地域企業 未来の祭典2025 エントリー開始。開催は10月から

「地域企業未来の祭典」は、地域企業未来力会議から生まれた、京都市が地域企業と連携して行う、社会実験を通して新たな価値を創出する取り組みです。事業者同士の交流や連携を促し、地域課題の解決や新たなビジネスモデルの創出を目指します。具体的には、2事業者以上の連携による社会実験を市内各地で実施し、その成果を共有する場として、年に一度の「祭典」が開催されます。「社会実験をやってみよう!」と思われた方は、エントリーフォームをご確認ください。

【実施期間】 2025年10月1日(水)～11月30日(日)

【募集期間】 8月1日(金)～10月31日(金)

【募集対象】

1. 「京都・地域企業 未来の祭典2025」に賛同いただける方

※参照：京都・地域企業宣言



2. 京都市の地域企業等が主体となり、公益的な2者以上の事業者連携があること
3. 以下「京都・地域企業宣言」の①～⑤のうち社会実験の趣旨に1つ以上が該当すること
 - ①自助努力や各企業の連携・融合により社業の持続的発展を追求する
 - ②生活文化の継承、安心安全、地域コミュニティの活性化に貢献する
 - ③働きがいや社会に貢献する喜びを大切に、若者をはじめたような担い手の活躍を支援する
 - ④受け継いできた文化や知恵、技術を学び、新たな価値の創造に挑戦する
 - ⑤森や水の恵みを活かし暮らしを支える豊かな自然環境の保全に寄与する

8/4(月)からエントリー受付開始!



京都に働くいろんな人々の知恵やアイデアをひらき、
領域をこえる好奇心と共創の精神がまじわる
文化自由都市としての未来へ向けたさまざまな
実験と交流に参加できる舞台があるとしたら...
わたしたちは今、まちに必要なと互いに感じる
仕組みを「自分たちでつくりませんか?」と呼びかけ、
できることから京都・地域企業 未来の祭典として
まずは、やってみることにしました。
みなさんなら、どんな舞台をつくりませんか?

「世界文化自由都市宣言」とは

「地域企業 未来の祭典」とは

CONTENTS

たのしみ!

はじめての実験から顔なじみの方々との新たな交流まで、
参加とは異なる視点で、
未来の祭典らしい試みに参加してみませんか。

LINE UP

準備中

And more...

MAP

探してみよう!

選んだことのない場所だからこそ、
新たな繋がりがビジネスのヒントに出会えるかもしれません。



地域企業未来の祭典2025
WEBサイトはこちら

(3) 地域企業アンケート結果と本日のテーマについて

令和7年度、京都市輝く地域企業表彰受賞企業496社・団体を対象に、持続的発展・成長に関するアンケートの調査を行った。現段階の調査結果の共有と共に、本日の議論テーマについての投げかけがあった。



京都市地域企業の持続的発展・成長に関するアンケートの調査結果（令和7年7月時点）

京都市輝く地域企業表彰受賞企業496社・団体
 (2) 調査期間：令和7年5月14日～6月10日
 (3) 調査方法：メールにてアンケートフォーム送付
 (4) 回答数：109件
 (5) 回答企業の属性
 製造業30社、伝統産業22社、サービス業16社、建築業10社、食品製造業6社、卸売業6社、小売業5社、不動産業5社、情報通信業4社、運輸業1社、教育・学習支援業1社、その他3社



京都市輝く地域企業表彰
WEBサイトはこちら

* アンケート調査資料

<アンケート結果まとめ>

● 総論

地域企業が多く共通かつ複合的な課題を抱える一方、積極的に地域解決・経営課題に向けた取組や企業間連携を模索されている。

● 主要なポイントと傾向

- 人材確保・育成、特に後継者不足や少子高齢化による労働力の減少が多く企業の課題。
- 地域活性化や地域コミュニティの希薄化に課題意識を持つ企業も多く、地域連携や地域資源の活用が重要。
- 大部分の企業が企業間連携に積極的又は関心があるものの、市外・スタートアップ企業との連携には消極的な傾向がみられる。

● 業種別の関心事項

- 共通ポイント：多くの業種で「人材」「地域資源の活用」「生産性向上」が関心の高いテーマとなっている。
- 製造業や建設業は効率化と地域連携、DXの推進を重視。
- 伝統産業は文化や技術の継承、新商品・新事業の推進を重視。
- サービス業や小売業は地域との結びつきやブランド強化、社会貢献を重視。

● 課題の認識と具体的な対応策

- 「資金調達」「情報・知識・ノウハウの不足」などが挙げられており、これに対して具体的な支援や連携を求める声が多い。
- 企業間連携に「関心がない」回答も一定あり、優先度の違いや取り組む際の制約が反映されている。

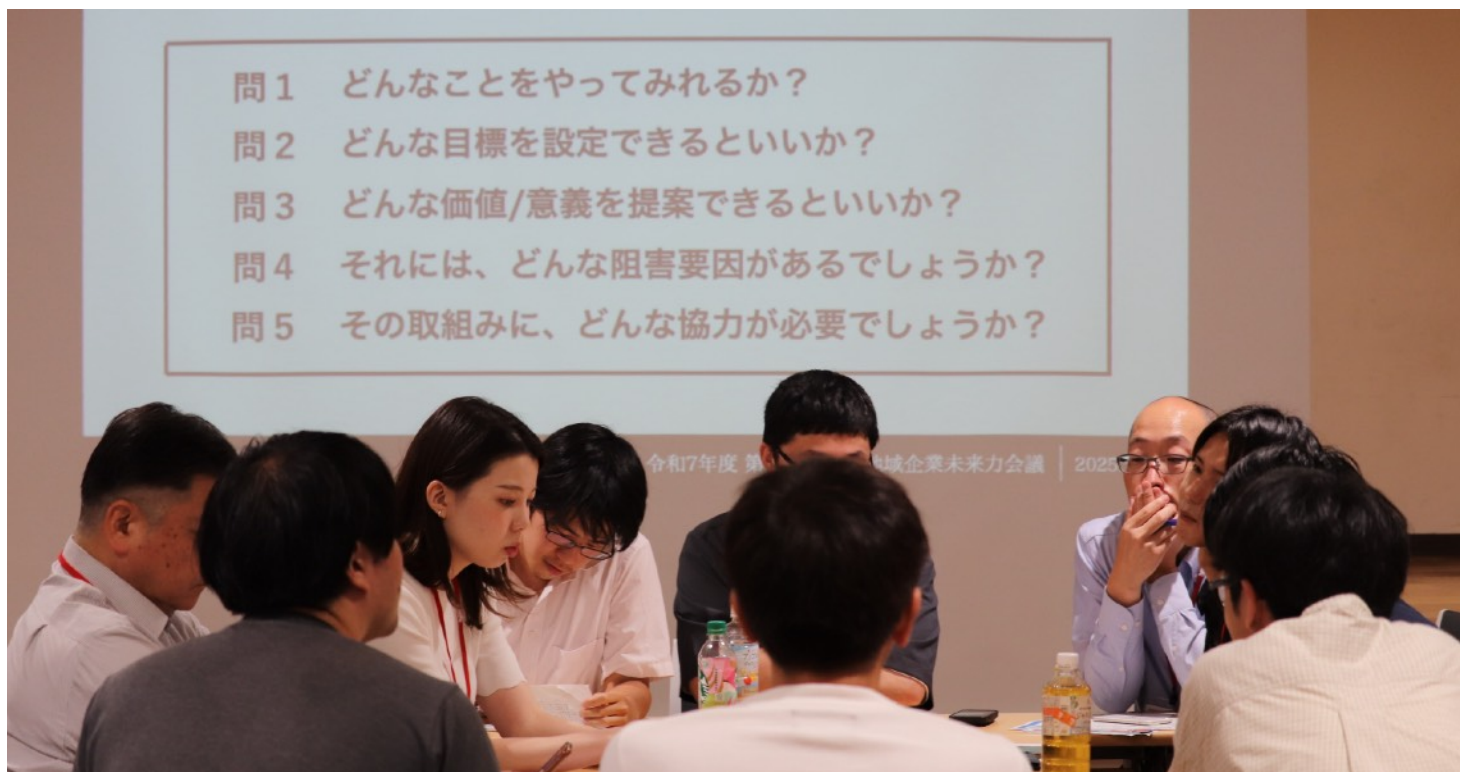
（４）本日のテーマの議論

多様な視点の共有とともに、未来の祭典に向けた様々な意見交換が広がった

30分×2回の議論を行った。1回目は、4つのテーマのうち、関心が重なった方の多かったテーマから、テーブル内で議論し、2回目は1回目の議論を踏まえ、「京都の未来」や「経営・地域課題の解決」に向けたアクションやビジネスアイデア、地域企業がより活躍するために必要な仕組みや支援策、プラットフォーム等について議論を行い、終了後、各テーブルから1〜2つ意見を全体共有した。

本日の議論テーマ

- ① 地域企業が持続的に発展するための人財育成
- ② 若者と地域企業による地域活性化
- ③ 地域資源を活かす事業展開
- ④ 公民連携・組織間連携



（４）本日のテーマの議論

議論の後、全体共有を行なった。

本日の議論テーマ

- ① 地域企業が持続的に発展するための人財育成
- ② 若者と地域企業による地域活性化
- ③ 地域資源を活かす事業展開
- ④ 公民連携・組織間連携



（会議内で出た意見） ※抜粋

- ・民間事業者が取組を持続することが大切、そのうえで行政との連携ができればなお良い
- ・企業の社員同士が交流できる機会を作れないか。小さな会社だと誰にも相談できない状況もある。
- ・1社で従業員を週5で拘束することが難しい企業も多いのではないか。1社の利益というよりも、地域全体で多角的な視点から考える必要がある。
- ・企業間の若手社員間で交流ができるような場が身近に欲しい
- ・地域コミュニティや地域とのつながりを求めている若者も多くいる一方で、企業が学生との接点を持てなくなっている。
- ・共通課題を持った地域企業の集まりが欲しい。
- ・地域企業が自社の魅力を発信できる策が必要。自社の魅力を言語化できておらず、社員と社長でも認識の違いがある。
- ・複数社の中小企業が集まり、みんなで人材育成を実施する仕組みがあれば良い。持続可能な事業を展開するためにも、長期的・多角的な視点での人材育成が必要。

（アイデア）

- ・地域企業の魅力や社員からの話、活用できる施策の情報を発信するプラットフォームづくりなど、エンドユーザーとのつながりを強化できる情報発信基盤の整備。
- ・地域企業と大学を連携させ、学生が地域企業を認識し、インターンシップや事業説明会を通じて地域企業と学生の交流を深める。
- ・複数社で従業員をシェアする仕組みづくり
- ・企業間での従業員インターン
- ・休学して新しい挑戦や探求をしている学生をターゲットした取組
- ・企業と学生が互いに学び合い、お互いについて少し深く知る機会創出、場づくり
- ・未来力会議に学生も参加してもらい、参加者と交流する。運営に学生も参加する。



第二部：交流会

交流会では参加者同士が交流を深め、地域企業未来の祭典2025開催に向けて活発な議論が広がりました。



事務連絡

◎地域企業応援プロジェクトWEBについて

地域企業未来力会議の内容や、地域企業のアイデアの具体化を支援する「地域企業応援会」等の情報を掲載しています。是非アクセスしてみてください。

地域企業応援会

日程：第4回9/10（水）第5回10/8（水）

時間枠：ア 9:30～10:30 イ 11:00～12:00 ウ 13:30～14:30 エ 15:00～16:00

会場：京都市内で開催。会場は確定し次第、申込者に通知します。

京都 地域企業応援プロジェクト 検索 <https://community-based-companies.kyoto/>
京都市 地域企業未来力会議 facebook <https://www.facebook.com/kyotoshichushokigyo>
京都・地域企業応援プロジェクトInstagram https://www.instagram.com/cbc_kyoto/



◎9/19開催「SDGsセミナー・交流会」

～地域や未来もよろこぶ企業のあり方を考える～参加事業者を募集します！

主催：きょうとSDGsネットワーク（事務局：京都市総合企画局国際都市共創推進室）

日時：令和7年9月19日（金曜日）13時30分～15時

場所：京都市役所 本庁舎 地下1階 オープンスペース

対象：どなたでも

定員：50名（事前申込制/先着順）

申込締切：令和7年9月18日（木曜日）まで

参加費：無料

ゲストスピーカー：

OneRiceOneSoup株式会社 中東 篤志さん

株式会社堤浅吉漆店 堤 卓也さん

一般社団法人リリース 桜井 肖典さん

一般社団法人リリース 風間 美穂さん

タイムテーブル（予定）：

13:30-14:20 トークセッション

14:20-15:00 交流会

